

比較芸術論 II

科目ナンバリング ARL-302
選択 2単位

佐藤 伴近

1. 授業の概要(ねらい)

多様なジャンルの舞台芸術について、その誕生の契機や社会的機能を、比較や交流の観点から学ぶ。

2. 授業の到達目標

多様なジャンルの舞台芸術と社会の関係、その舞台芸術が体现する価値観の類似性や相違性を理解し説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

各回の最後に学習内容を確認する小テストを行う(40%)。学期末試験(60%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを配布する。

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

比較芸術論 I を履修していることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 西洋音楽とトルコ「トルコ行進曲」の成立とジェッディン・デデン
- 【第3回】 ヨーロッパにおけるオペラの誕生
- 【第4回】 イギリスへの歌劇文化の移入とイギリス人アイデンティティ
- 【第5回】 サヴォイ・オペラと19世紀イギリス社会
- 【第6回】 『ベンザンスの海賊』と19世紀イギリス社会
- 【第7回】 西洋音楽と東アジア①—日本における西洋音楽の受容
- 【第8回】 日本への歌劇文化の移入と浅草オペラ
- 【第9回】 西洋音楽と東アジア②—朝鮮における西洋音楽の受容
- 【第10回】 日本の「古典」芸能
- 【第11回】 西洋演劇と日本—日本における「近代」演劇の成立
- 【第12回】 東西の「寄席」①—イギリスにおけるミュージック・ホール
- 【第13回】 東西の「寄席」②—フレンチ・カンカンの成立
- 【第14回】 東西の「寄席」③—近代日本における寄席
- 【第15回】 まとめ・授業内試験